

---

## 4 0 3 3. 保税運送申告事項登録

---

| 業務コード | 業務名        |
|-------|------------|
| OLA   | 保税運送申告事項登録 |

## 1. 業務概要

「保税運送申告（事項登録あり）（OLC20）」業務に先立ち、保税運送申告事項を登録する。  
包括保税運送承認に係る個別運送情報事項、特定保税運送事項も本業務で登録することができる。  
本業務登録時に該当する貨物情報がシステムに登録されている場合は、当該貨物情報を利用することができる。

本業務は、税関の執務時間、貨物の発送地への搬入にかかわらず行うことができる。

登録した保税運送申告事項情報は、保税運送申告までの間任意に訂正が可能である。

また、搬入時申告（システム参加保税地域等<sup>\*1</sup>または「船卸確認登録（個別）（PKK）」業務、「船卸確認登録（一括）（PKI）」業務で登録される船卸場所（バースコード）から運送する場合のみ）または開庁時申告を選択した場合は、自動起動前であれば本業務で訂正が可能である。

本業務は保税運送申告を行う単位毎に入力する。

登録した保税運送申告事項情報は、OLC20業務が行われない場合、一定期間経過後システムから削除される。

（\*1）システム参加保税地域等とは、システム参加保税地域と「他所蔵置許可申請（TYC）」業務または「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務で登録された他所蔵置場所をいう。なお、システム参加保税地域とは、システムに参加している保税地域をいう。

## 2. 入力者

通関業、機用品業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC、海貨業

## 3. 制限事項

① 1 申告事項登録、1 個別運送情報事項登録または 1 特定保税運送事項登録で入力可能な貨物管理番号<sup>\*2</sup>は最大 5 件とする。

② 1 申告事項登録、1 個別運送情報事項登録または 1 特定保税運送事項登録で入力可能なコンテナ番号は最大 200 件とする。

（\*2）貨物管理番号とは、B/L 番号（CT-B/L 番号を含む。）または輸出管理番号のことをいう。

## 4. 入力条件

### （1）入力者チェック

① システムに登録されている利用者であること。

② 訂正の場合は、保税運送申告 DB に登録されている本業務、OLC 業務または OLC20 業務の入力者と同一であること。

③ 特定保税運送事項登録の場合は、特定保税運送者であること。

### （2）入力項目チェック

#### （A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

#### （B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

### （3）保税運送申告 DB チェック

保税運送申告番号（個別運送管理番号または特定保税運送番号）が入力された場合は、入力された保税運送申告番号（個別運送管理番号または特定保税運送番号）に対して、以下のチェックを行う。

① 入力された保税運送申告番号（個別運送管理番号または特定保税運送番号）に対する保税運送申告 DB が存在すること。

② 保税運送申告、個別運送情報登録または特定保税運送登録がされていないこと。

#### (4) 貨物情報DBチェック

入力された貨物管理番号に対する貨物情報DBが存在した場合は、以下のチェックを行う。

- (A) 輸出貨物でないこと。
- (B) 「積戻貨物情報登録（RCR）」業務で、積戻し移送された輸入貨物でないこと。
- (C) 特定保税運送事項登録の場合は、発送地、到着地がシステム参加保税地域であること。
- (D) 以下の税関手続がされていないこと。
  - (a) 輸入申告等の輸入通関手続（予備申告、検査扱いの輸入申告及び発送地が蔵入承認済貨物の貨物管理を行う蔵置場としてシステムに登録されている場合における蔵入承認済を除く）
  - (b) 積戻し申告（通関蔵置場への搬入前に行われた積戻し申告（搬入前申告）で搬入後処理未済の場合を除く）
  - (c) 本船・ふ中扱い承認申請
  - (d) 「許可・承認等情報登録（監視）（PAKO3）」業務による以下の登録
    - ・「別送品輸入許可」
    - ・「外国貨物船（機）用品積込承認」
  - (e) PSH業務による以下の登録
    - ・「亡失届受理」
    - ・「滅却承認」
    - ・「現場収容」
    - ・「税関内収容」
    - ・「その他の搬出承認」
  - (f) 「許可・承認等情報登録（輸入通関）（PAI）」業務による以下の登録
    - ・「輸入許可」
    - ・「蔵入承認」（発送地が蔵入承認済貨物の貨物管理を行う蔵置場としてシステムに登録されている場合を除く）
    - ・「移入承認」
    - ・「総保入承認」
    - ・「展示等承認」
    - ・「輸入許可前引取承認」
    - ・「輸入申告等手作業移行」
    - ・「別送品輸入許可」
  - (g) 「許可・承認等情報登録（輸出通関）（PAE）」業務による以下の登録
    - ・「積戻し許可」
    - ・「輸出申告等手作業移行」
- (E) 包括保税運送承認に係る個別運送情報事項登録または特定保税運送事項登録の場合は、検査扱いの輸入申告貨物でないこと。
- (F) 保税運送申告事項登録の場合、検査扱いの輸入申告貨物については以下の状態であること。
  - ・到着地が検査貨物の転送先と同一であること。
  - ・発送地にコンテナ詰貨物が蔵置されていること。
  - ・発送地から一部のコンテナが搬出されていること。
- (G) 「貨物取扱登録（改装・仕分け）（SHS）」業務または「貨物情報仕分け（CHJ）」業務により仕分親となっていないこと。
- (H) 「貨物取扱登録（仕合せ）（CHU）」業務により仕合親となっていないこと。
- (I) 混載仕分けされた親でないこと。
- (J) 包括保税運送承認番号が入力された場合は、輸入貨物であること。
- (K) 当該事項登録において輸入貨物と仮陸揚貨物が混在していないこと。

- (L) 当該事項登録において未通関積戻し貨物と仮陸揚貨物が混在していないこと。
- (M) 保税運送申告事項登録の場合で、仮陸揚貨物の場合は、運送不可の仮陸揚事由が登録されていないこと。
- (N) 貨物手作業移行登録がされていないこと。
- (O) 入力されたコンテナ番号に当該貨物に対応する申告欄番号が入力された場合は、当該コンテナ番号が登録されていること。
- (P) 当該事項登録において蔵入承認済貨物と蔵入承認済貨物以外が混在していないこと。

(5) コンテナ情報DBチェック

コンテナ自動抽出識別の入力がある場合は、貨物情報DBに登録されているコンテナ番号に対して、コンテナ自動抽出識別の入力がない場合は、入力されたコンテナ番号に対して、システム参加保税地域またはPKK業務、PKI業務で登録される船卸場所（バースコード）から運送する場合にのみ以下のチェックを行う。

(A) 保税運送申告事項登録または特定保税運送事項登録の場合

以下のチェックを行う。なお、②～④のチェックは当該コンテナが入力された発送地に蔵置されている場合のみ行う。

- ①コンテナ情報DBが存在すること。
- ②当該コンテナに収容されている他の貨物に対して、包括保税運送承認に係る個別運送情報登録が行われていないこと。
- ③当該コンテナに収容されている他の貨物に対して保税運送申告または特定保税運送が既に行われている場合は、申告者が同一であること。
- ④当該コンテナ内に収容されている他の貨物に対して、到着地がCYである保税運送申告または包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録がされている場合は、入力された到着地は当該CYであること。

(B) 包括保税運送承認に係る個別運送情報事項登録の場合

以下のチェックを行う。なお、②～④のチェックは当該コンテナが入力された発送地に蔵置されている場合のみ行う。

- ①コンテナ情報DBが存在すること。
- ②当該コンテナに収容されている他の貨物に対して、保税運送申告または特定保税運送が行われていないこと。
- ③当該コンテナに収容されている他の貨物に対して包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録が既に行われている場合は、同一の包括保税運送承認番号であること。
- ④当該コンテナ内に収容されている他の貨物に対して、到着地がCYである保税運送申告または包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録がされている場合は、入力された到着地は当該CYであること。

(6) 包括保税運送DBチェック

包括保税運送承認番号の入力がある場合は、入力された包括保税運送承認番号に対して以下のチェックを行う。

- ①包括保税運送DBが存在すること。
- ②本業務の入力者と包括保税運送DBに登録されている包括保税運送承認を受けた者が同一であること。
- ③入力された包括保税運送承認番号が停止となっていないこと。
- ④本業務入力日が包括保税運送承認期間を過ぎていないこと。
- ⑤入力された発送地コード及び到着地コードが包括保税運送DBに登録されていること。

(7) 申告官署関連チェック

検査扱いの輸入申告貨物の場合、以下のチェックを行う。

- ①自由化申告以外の場合、本業務にて入力された申告官署と輸入申告官署が同一であること。
- ②自由化申告の場合、本業務にて入力された申告官署を管轄する税関と発送地を管轄する税関が同一であること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 保税運送申告番号、個別運送管理番号または特定保税運送番号払出し処理

保税運送申告番号(個別運送管理番号または特定保税運送番号)の入力がない場合は、保税運送申告番号、個別運送管理番号または特定保税運送番号を払い出す。

(3) 申告官署決定処理

- ①申告官署コードに入力がある場合は、入力された申告官署コードを申告官署とする。
- ②申告官署コードに入力がない場合は、発送地の保税地域を管轄する税関官署を申告官署とする。

(4) 保税運送申告DB処理

(A) 保税運送申告番号(個別運送管理番号または特定保税運送番号)の入力がない場合

- ①システムで払い出した保税運送申告番号、個別運送管理番号または特定保税運送番号に対する保税運送申告DBを作成する。
- ②入力情報を登録する。

(B) 保税運送申告番号(個別運送管理番号または特定保税運送番号)の入力がある場合

入力情報により、既に登録されている保税運送申告DBの内容を更新する。

(5) 貨物情報DB処理

OLC業務またはOLC20業務により、搬入時申告、搬入時個別運送または搬入時特定保税運送の旨が登録され、当該申告が自動起動する前に本業務で訂正が行われた場合は、入力された保税運送申告番号(個別運送管理番号または特定保税運送番号)の保税運送申告DBに登録されている貨物管理番号の貨物情報DBに対して搬入時申告、搬入時個別運送または搬入時特定保税運送を取り消した旨を登録する。

(6) 時刻起動電文DB処理

OLC業務またはOLC20業務により、開庁時申告の旨が登録され、当該申告が自動起動する前に本業務で訂正が行われた場合は、時刻起動電文DBを削除する。

(7) 注意喚起メッセージ出力処理

以下の場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

- ①入力された貨物管理番号に対する貨物情報DBが存在しない。
- ②発送地に貨物が蔵置されていない(発送地がバースコードの場合は、その場所に船卸しされていない)。
- ③同一発送地で保税運送申告または包括保税運送承認に係る個別運送情報登録が既にされている。
- ④保税運送申告事項登録で、到着地が他所蔵置場所の場合で、TYC業務またはPSH業務で他所蔵置許可となっていない。
- ⑤他所蔵置場所が到着地で、貨物が複数入力された場合で、他所蔵置許可の申請者が同一でない。
- ⑥包括保税運送承認に係る個別運送情報事項登録または特定保税運送事項登録の場合で、貨物差止め登録で差し止められた貨物がある。
- ⑦訂正保留中の貨物がある。

- ⑧貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中の貨物がある。
- ⑨発送地がバーズコードの場合で、卸コンテナリスト提出、コンテナ容器保税運送承認またはコンテナ輸入許可されていないコンテナがある。
- ⑩リスク分析結果の事前通知が登録されている貨物がある。
- ⑪保税運送申告事項登録で、発送地が他所蔵置場所の場合で、他所蔵置許可期間を経過している。
- ⑫税関への通知を要する事故が登録されている貨物の場合で、税関による事故確認登録がされていない。

(8) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

| 情報名         | 出力条件 | 出力先 |
|-------------|------|-----|
| 処理結果通知      | なし   | 入力者 |
| 保税運送申告入力控情報 | なし   | 入力者 |

7. 特記事項

保税運送申告に係る業務の主な流れは以下の通りである。

|                            | 実施内容                                 | (1)                  | (2)                    | (3)          | (4)         | (5)         |
|----------------------------|--------------------------------------|----------------------|------------------------|--------------|-------------|-------------|
| 場合<br>OLA業務で保税運送申告番号を払い出した | 通常申告                                 | OLA<br>事項登録          | OLC20<br>申告            | -            | -           | -           |
|                            | 呼出しあり通常<br>申告                        | OLA11<br>呼出し         | OLA<br>事項登録            | OLC20<br>申告  | -           | -           |
|                            | 搬入時・開庁時<br>申告の自動起動<br>前の訂正（事項<br>登録） | OLA<br>事項登録          | OLC20<br>搬入時・開<br>庁時申告 | OLA11<br>呼出し | OLA<br>事項登録 | OLC20<br>申告 |
|                            | 搬入時・開庁時<br>申告の自動起動<br>前の訂正（通常<br>申告） | OLA<br>事項登録          | OLC20<br>搬入時・開<br>庁時申告 | OLC11<br>呼出し | OLC<br>申告   | -           |
|                            | 搬入時・開庁時<br>申告の自動起動<br>前の取消し          | OLA<br>事項登録          | OLC20<br>搬入時・開<br>庁時申告 | OLC11<br>呼出し | OLC<br>取消し  | -           |
| 場合<br>OLC業務で保税運送申告番号を払い出した | 通常申告                                 | OLC<br>申告            | -                      |              | -           | -           |
|                            | 呼出しあり通常<br>申告                        | OLC11<br>呼出し         | OLC<br>申告              | -            | -           | -           |
|                            | 搬入時・開庁時<br>申告の自動起動<br>前の訂正（事項<br>登録） | OLC<br>搬入時・開<br>庁時申告 | OLA11<br>呼出し           | OLA<br>事項登録  | OLC20<br>申告 | -           |
|                            | 搬入時・開庁時<br>申告の自動起動<br>前の訂正<br>（通常申告） | OLC<br>搬入時・開<br>庁時申告 | OLC11<br>呼出し           | OLC<br>申告    | -           | -           |
|                            | 搬入時・開庁時<br>申告の自動起動<br>前の取消し          | OLC<br>搬入時・開<br>庁時申告 | OLC11<br>呼出し           | OLC<br>取消し   | -           | -           |